

割
印

第1表

26千お茶幼 発第51号
平成27年 3月25日

千代田区教育委員会 殿

千代田区立お茶の水幼稚園長

山 田 茂 利 公印

平成27年度教育課程について（届）

このことについて、千代田区立学校の管理運営に関する規則に基づき
下記のとおりお届けします。

記

1 教育目標

(1) 幼稚園の教育目標

◎あかるく げんきな子 ○なかよく あそぶ子 ○よくかんがえ やりぬく子

人権尊重の精神に基づき、幼児一人一人の特性を踏まえ、次のような幼児の育成を
目指す。

- ① 遊びや生活にめあてをもって取り組み、のびのびと体を動かして遊ぶ幼児
- ② 友達や様々な人とのかかわりを楽しみ、互いのよさを認め合う幼児
- ③ 考えて行動し、自分の力を十分に発揮する幼児

(2) 幼稚園の教育目標を達成するための基本方針

- ◎教師との信頼関係を基盤に情緒の安定を図り、基本的な生活習慣や態度を身に付け、進んで体を動かし、自分の力で行動しようとする自立の構えを養う。
- 友達との生活を楽しみ満足感や充実感を味わう中で、めあてをもって取り組み、自己を十分に発揮しようとする意欲や主体的な態度を養う。
- 小学校や近隣保育所などの様々な人との交流や遊びの充実を図り、人とかかわる経験を重ねる中で、親しみや思いやりの気持ちを育み、一人一人の尊厳を重んじる社会性や道徳性の芽生えを培う。
- 身近な環境に興味や関心をもってかかわり、具体的な活動を通して、豊かな感性や表現力・知的好奇心・自ら考えようとする力を育む。

2 指導の重点

(1) 教育課程の編成、実施にかかわる指導の重点

- ◎進んで体を動かし、自分の力で行動できるよう、運動遊びの充実を図る。
 - ・基本的な生活習慣の自立を図り、自分の力で行動することの喜びを感じられるよう、各家庭の実態を踏まえ一人一人の発達に応じた支援を工夫する。
(健康・人間関係)
 - ・挑戦しようとする意欲や友達と遊びのルールを守って楽しむことのできる力を養うため、錦華公園での毎朝の体操やランニング・運動遊びを継続するとともに、小学校の校庭や講堂を活用した集団での運動遊びを計画的に取り入れる。(健康・人間関係)
 - ・積極的に環境にかかわって遊ぶ力を育むために、興味や関心を引き出す活動や魅力ある行事の内容などを工夫する。
(健康・環境・表現)
- 互いのよさを認め、一人一人が自己を十分に発揮できるよう、友達と協力して取り組む生活を展開する。
 - ・自己肯定感や自尊感情を高めるために、相手に受け入れられる経験を積み重ねられるよう、ティーム保育を展開する中で、一人一人のありのままの姿や個性を丁寧に理解し、全職員で受け入れていく。
(人間関係・言葉)
 - ・友達と協力して楽しみ、時には自分の気持ちを調整していく態度を養うために、自分の気持ちを言葉で表したり、相手の話をよく聞き受け止めたりする体験を重ねられるようにする。
(人間関係・言葉)
- 友達と一緒に考え、新しい考えを生み出す喜びや楽しさを味わい、自ら考えようとする気持ちが育つよう、友達と考えを共有したり、共同して取り組んだりする活動を取り入れる。
 - ・友達と一緒に遊びや生活を楽しむ中で、自分とは違う考えに気付き、自分の考えを広げていかれるよう、共通のめあてに向かって取り組む活動を意図的・計画的に実施する。
(人間関係・言葉・環境)
 - ・季節により自然や人間の生活の様子に変化があることに気付き、関心をもてるよう、身近な錦華公園での日々の遊びの内容や、遠足や地域など園外での直接的な体験が得られるよう工夫する。
(健康・人間関係・環境)

(2) 環境の構成

- 進んで体を動かす楽しさを味わえるように、錦華公園・校庭・講堂のそれぞれの特徴を活かした遊びを意図的・計画的に行う。また、幼児が主体的に環境にかかわり、自分の力を発揮できるよう、発達段階に即した運動遊具の提示や遊びの工夫に努める。
- 生活習慣・食育・戸外遊びなどの健康に対する意識を高めるために、小学校の養護教諭・栄養士・運動遊びの外部講師と連携し、健康教育を推進する。
- 日本古来の行事や芸術に親しみをもち、感性豊かな心を育むために、季節行事を計画的に取り入れるとともに、お茶・新内節・木遣り・獅子舞・地域の祭など、日本の伝統・文化に触れる機会を設ける。また、保護者や地域の方の力を活かすことで、幼児が伝統や文化に主体的にかかわれるようにするとともに、身近な人々への親しみや気持ちや自分が大事にされているということを感じられるようにする。
- 自然の美しさや生命の尊さに気付き、大切にしようとする気持ちを育むために、〔おひさまガーデン〕と錦華公園の自然環境を活用し、植物を育てる・収穫を喜ぶ・季節の変化に気付き感動することや、保育室で小動物を飼育し責任をもって世話をを行うことなどの直接体験ができるようにする。

○資源や自然を大切にしようとする気持ちをもてるよう、千代田エコシステムのもとに、リサイクルや節電・節水などの環境教育を推進する。

(3) その他

○特別支援教育

- ・一人一の発達や個性に応じた指導を行うために、発達支援アドバイザーやスクールカウンセラー、外部の関係諸機関と連携し、情報と指導方針の共通理解を図り、全職員の指導体制を整えていく。

○保幼小連携

- ・人とのかわりを豊かにし、親しみや思いやりの気持ちを育むために、小学校や近隣保育所と年間計画に基づいた交流活動を実施する。実施にあたっては、職員同士の事前事後の話し合いを行い、互惠性のある交流を工夫する。
- ・近隣に認証保育所を含めた就学前施設が増える現状を踏まえ、地域の拠点園として併設小学校との連携のもとに就学前教育の充実に努める。

○安全教育

- ・緊急災害時への構えや安全に対する意識を高めるために、神田警察や神田消防署と連携し、避難訓練や安全指導の内容を見直し、多様な状況を想定した訓練を繰り返し行い、安全教育の徹底を図る。

○家庭との連携・子育て支援

- ・保護者の幼稚園教育への理解を深めるとともに、保護者自身が安定して子育てができるよう、幼稚園公開、行事への参観・参加などを実施する。また、園生活等説明会や保護者会、学級懇談会、個人面談、学級だよりなどで、教育内容や幼児の育ちなどを伝える工夫をする。
- ・土曜授業日を活かし、普段は幼稚園に来られない保護者も幼児の園生活の様子を参観できる機会を増やす。
- ・登降園時における保護者との直接対話の機会を有効に活かす。
- ・ティーム保育を通して複数の目でとらえた様々な幼児の姿を保護者に伝え、共に成長を喜び、保護者の子育ての安定につながるようにする。
- ・預かり保育は、事前申込制で行うことで、参加人数や幼児の実態に応じた保育を展開できるようにする。
- ・地域の中の幼稚園として、未就園児の会（ひよこタイム）、発達支援アドバイザーやスクールカウンセラーとの相談会、外部講師の招いての講演、保護者ボランティアによる絵本などの読み聞かせの会、施設や遊具の開放など、保護者同士の関係作りや親育ちのための支援を行う。

○園内研究

研究主題 「自分で考えて遊びを楽しむ子どもを育てる」

第3表

千代田区立お茶の水幼稚園

3 教育日数及び教育時数

(1) 年間教育週数及び教育日数配当表

月 学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
5 歳	17	19	23	14	0	20	21	20	19	16	20	13	202
	14週4日					16週4日				9週4日			41週2日
4 歳	17	19	23	14	0	20	21	20	19	16	20	14	203
	14週4日					16週4日				10週			41週3日
3 歳	16	19	23	14	0	20	21	20	19	16	20	14	202
	14週3日					16週4日				10週			41週2日

(2) 教育時間

月 学年	I	II	III	IV	V	VI	備考
5 歳	4月 7日 ～ 4月 8日 8時50分 ～ 11時30分	4月 9日 ～ 3月16日 8時50分 ～ 14時00分	/	/	/	/	水曜日 4・5歳児 11時30分 降園
	4月 7日 ～ 4月 8日 8時50分 ～ 11時30分	4月 9日 ～ 3月17日 8時50分 ～ 14時00分	/	/	/	/	3歳児 11時20分 降園
4 歳	4月 8日 ～ 4月13日 8時50分 ～ 10時30分	4月14日 ～ 4月20日 8時50分 ～ 11時00分	4月21日 ～ 5月14日 8時50分 ～ 11時20分	5月16日 ～ 6月10日 8時50分 ～ 13時00分	6月11日 ～ 10月21日 8時50分 ～ 13時30分	10月22日 ～ 3月17日 8時50分 ～ 13時50分	土曜授業日 全学年 11時降園
	4月 8日 ～ 4月13日 8時50分 ～ 10時30分	4月14日 ～ 4月20日 8時50分 ～ 11時00分	4月21日 ～ 5月14日 8時50分 ～ 11時20分	5月16日 ～ 6月10日 8時50分 ～ 13時00分	6月11日 ～ 10月21日 8時50分 ～ 13時30分	10月22日 ～ 3月17日 8時50分 ～ 13時50分	5・6・7・9・ 10・11・1 2・1・2・3 月に 土曜授業を 実施する

(3) 1日の標準教育時間

3歳	4時間	4歳	4時間	5歳	4時間
----	-----	----	-----	----	-----

第4表の1

4 学校行事

	4		5		6		7		8		9	
	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事
1	水		金		月		水		土		火	始業式
2	木		土		火		木		日		水	
3	金		日	憲法記念日	水		金	安全指導日	月		木	水遊び指導終
4	土		月	みどりの日	木		土		火		金	
5	日		火	こどもの日	金		日		水		土	
6	月	春季休業日終	水	振替休日	土		月		木		日	
7	火	始業式	木		日		火	避難訓練	金		月	
8	水	入園式 安全指導日	金		月	(区) 一斉清掃の日	水		土		火	
9	木	定期健康診断始	土		火		木		日		水	
10	金	避難訓練	日		水		金		月		木	
11	土		月		木		土		火		金	安全指導日
12	日		火		金	避難訓練	日		水		土	避難訓練
13	月		水		土	園公開	月		木		日	
14	火		木		日		火		金		月	
15	水		金		月		水		土		火	遠足(3)
16	木		土		火	水遊び指導始	木		日		水	
17	金	遠足(4・5)	日		水	安全指導日	金	終業式	月		木	
18	土		月	安全指導日	木	遠足(4・5)	土		火		金	
19	日		火	親子遠足(全)	金		日		水		土	
20	月		水	避難訓練	土		月	海の日	木		日	
21	火		木		日		火	夏季休業日始 前期夏季水遊び指導始	金		月	敬老の日
22	水		金		月		水		土		火	国民の休日
23	木		土		火		木		日		水	秋分の日
24	金		日		水		金	前期夏季水遊び指導終	月		木	
25	土		月	避難訓練	木		土		火		金	
26	日		火		金		日		水	後期夏季水遊び指導始	土	
27	月		水		土		月		木	後期夏季水遊び指導終	日	
28	火		木		日		火		金		月	
29	水	昭和の日	金	遠足(4・5)	月		水		土		火	
30	木		土		火	定期健康診断終	木		日		水	
31			日				金		月	夏季休業日終		

第4表の2

4 学校行事

	10		11		12		1		2		3	
	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事
1	木	都民の日	日		火		金	元日	月	(区)連合作品展終	火	遠足(全)
2	金		月		水		土		火		水	
3	土	運動会	火	文化の日	木		日		水		木	
4	日		水		金	安全指導日	月		木		金	避難訓練
5	月	振替休業日	木	避難訓練	土		火		金		土	
6	火		金	(区)一斉清掃の日	日		水		土		日	
7	水		土	東京都教育の日	月		木	冬季休業日終	日		月	
8	木	避難訓練	日		火		金	始業式	月		火	
9	金	安全指導日	月		水		土		火		水	
10	土		火	安全指導日	木		日		水	開園記念日	木	安全指導日
11	日		水		金		月	成人の日	木	建国記念の日	金	
12	月	体育の日	木	(区)合同こども会	土		火	安全指導日	金	安全指導日	土	
13	火		金		日		水		土	園公開	日	
14	水		土		月	避難訓練	木		日		月	
15	木		日		火		金		月		火	
16	金		月		水		土		火		水	修了式
17	土	ふれあいスポーツデー	火	遠足(全)	木		日		水		木	終業式
18	日		水		金		月		木		金	休業日
19	月		木		土		火		金		土	
20	火		金		日		水	避難訓練	土		日	春季休業日始
21	水	避難訓練	土		月		木		日		月	春分の日
22	木		日		火		金		月	避難訓練	火	
23	金		月	勤労感謝の日	水	天皇誕生日	土		火		水	
24	土		火		木		日		水		木	
25	日		水		金	終業式	月		木		金	
26	月		木		土	冬季休業日始	火		金		土	
27	火	遠足(全)	金	学芸会	日		水		土		日	
28	水		土	学芸会	月		木		日		月	
29	木		日		火		金	(区)連合作品展始	月		火	
30	金		月	振替休業日	水		土				水	
31	土				木		日				木	